

# 「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」について

## 1. 目的・概要

プラスチックごみが及ぼす幅広い課題に対応するため、県民に対し、ライフスタイルを見直し、プラスチック代替製品の利用、マイボトルの持参などプラごみ削減に向けた実践行動のチャレンジを後押しするプロジェクトを展開する。具体的には、プラごみ削減を実践する「しがプラチャレンジの日」を毎月一日に設定し、県民の意識醸成の機会を設ける。併せて10月を「しがプラチャレンジ推進月間」とし、集中的な普及啓発を実施し、実践取組につなげる。

## 2. 実施内容

### (1) 「しがプラチャレンジの日」の創設

#### ① 概要

毎月一日を、「しがプラチャレンジの日」とし、プラごみ削減に資する行動をとる特別な日と捉え、現在の日常生活を見つめ直し、今後のライフスタイルを切り替える機会を設ける。また、毎月定期的に振り返ることで、一時的でなく、継続的な取組実施につなげる。

#### ② 創設時期 令和5年10月1日

#### ③ 主旨

これまでのライフスタイルを見つめ直し、1つ1つ、できることからステップアップしてプラごみ削減に向けた取組にチャレンジするという意味を込めて毎月一日を削減の日を選定。これまでの取組から、さらに一步踏み出すきっかけとする。

#### ④ 内容

プラスチックごみの3R（発生抑制、再使用、再資源化）やプラスチック代替製品の利用等の取組について、県が例示を挙げ、地域や事業所、家庭等で、特に「しがプラチャレンジの日」は意識してこれらの取組を実施してもらう。

### (2) 「しがプラチャレンジ推進月間」の設定

3R推進月間である10月を、しがプラチャレンジ推進月間とし、プラスチックごみ削減の実践取組に繋げるため、集中的な普及・啓発に取り組む。

【令和5年10月実施予定】

- ・ プロジェクトのキックオフ動画配信（知事出演）
- ・ 普及啓発動画の配信（プラごみの現状・課題、3Rの取組等）
- ・ 第1回サーキュラーエコノミー促進啓発イベントの実施
- ・ 「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」（16事業者・17団体・国・県・市町で構成）と連携し、協議会主催の「環境にやさしい買い物キャンペーン」参画事業者の店頭において、「しがプラチャレンジの日」に係る資材（ポスター、のぼりなど）等の配架

### (3) 創設に併せた主なプロジェクトの取組（業務委託先：株式会社エフエム滋賀） 別紙参照

## しがプラスチックチャレンジプロジェクトの概要

<プラスチックごみに関する課題>

- 生態系・人体への影響懸念
- 石油資源の枯渇や温室効果ガス排出量が増加
- 美観・景観が損なわれる

<これまでの状況>

- 2019年8月 「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」 (県)
- 2021年3月 「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」 (県)
- 2022年4月 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行 (国)
- 2023年4月 「2040年までに追加的なプラスチック汚染ゼロにする野心」  
(G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合)



課題解決・目標達成のためにあらゆる  
主体の削減取組の実践が重要

### しがプラスチックチャレンジプロジェクト

(目的)

毎月一日を「しがプラチャレンジの日」に、10月を推進月間に  
設定し、各主体の実践取組を強力に支援する

- 新 動画、テーマソング、キャラクター、ロゴマーク等を活用した普及啓発
- 新 動画等による子どもを中心とした普及啓発
- 新 県庁舎への給水器設置を通じたマイボトル携帯促進
- 新 サークュラーエコノミー促進啓発イベント
- 新 「ごみゼロしが」ホームページリニューアル
- 新 プラスチック代替製品ガイドブックの作成、周知による利用促進
- 既 しがプラスチックごみ削減行動宣言
- 既 プラスチックごみ・食品ロス削減等実践取組モデル事業補助金




毎月プラチャレ通信として、県民の方に実践していただきたい  
取組と関連する先駆的な取組 (県が支援した滋賀県旅館ホテル  
生活衛生同業組合 (以下、旅館組合) のプラ製アメニティ0推  
進事業など) を例示するとともに、取組例をリーフレットでわ  
かりやすくまとめ、プラ削減行動を促進する。

月	チャレンジ取組	取組紹介
10月	マイボトル携帯率100%を目指そう!	給水スポット情報
11月	プラ包装の少ない商品を選ぼう!	プラ代替商品などの紹介
12月	年末年始の旅行はマイ歯ブラシ!	旅館組合の取組紹介
1月	2024年はマイカトラリーで!	職員のマイカトラリーの紹介
2月	循環型ショッピングにチャレンジ!	イオンのLoopの取組紹介
3月	混ぜればごみ! 分ければ資源!	プラ再生商品の紹介
4月	事務用品も脱プラチャレンジ!	紙クリアファイルなどの紹介



プラチャレ通信イメージ

## しがプラスチックチャレンジプロジェクト普及啓発取組概要

## 1 取組一覧

	内容	方法・イメージ図	実施時期
キックオフ動画	三日月知事出演のプロジェクトキックオフ動画を作成し、全県的な周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ YouTube 掲載</li> </ul> 	「しがプラチャレンジ推進月間」(10月)で実施
テーマソング配信	幅広い層になじみやすい「音楽」を活用し、啓発動画を作成するなどにより、「しがプラチャレンジの日」の浸透を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラジオ CM</li> <li>・ SNS 広告</li> <li>・ キックオフ動画 BGM</li> </ul> 	
オリジナルキャラクター動画配信	オリジナルキャラクターを作成し、VTuberとして動画(2本)に出演することで、インパクトを持たせながらわかりやすくプラごみの問題、身近な取組を啓発する。  【キャラクター名】 挑一(ちょういち) プラごみ削減に挑戦する子ども、二日をイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ YouTube 掲載</li> </ul> 	

<p>ロゴマーク作成、リーフレット配布</p>	<p>一日、マイボトル、MLGsなどを想起させるロゴマーク※を作成し、「しがプラチャレンジの日」を统一的に周知する。学校等向けのわかりやすい取組事例を記載したリーフレット（数万部）を作成し、県民の取組を促進する。</p> <p>※ロゴマークはMLGsの達成（特にゴール4,7,13）に貢献する取組であることから、MLGsの配色を用いている。</p>	<p>・学校等に配布</p> 	
<p>子ども向け動画・パネル作成</p>	<p>オリジナルキャラクターなどを活用して、子ども向けの動画、パネルを作成し、啓発する。 淡海環境プラザでの展示等で活用。</p>	<p>・YouTube掲載 ・パネル展示</p> 	
<p>県庁舎への給水器設置</p>	<p>県庁舎に給水機を設置し、職員や県民の一層のマイボトルの持参・プラスチックごみの削減を促進する。</p>	<p>・県庁舎に設置</p> 	
<p>サーキュラーエコノミー啓発イベント</p>	<p>スーパー等で製造者と連携し、プラごみ削減等に取り組む製造者と県民をつなぎ、資源循環に配慮した消費活動を促す。</p> <p>①10月28日（土）味の素（アルプラザ野洲） ②11月12日（日）花王（ディオワールド草津） ③1月14日（日）味の素AGF（イオンモール草津）</p> <p>※③は食品ロス削減優良取組表彰（知事表彰）表彰式と同時開催</p>	<p>・計3回イベント実施 ・製造者のブース出展等による取組紹介等</p> 	<p>10月～1月</p>

ホームページリニューアル	「ごみゼロしが」ホームページをリニューアルし、日常生活でできることなどをわかりやすく周知する。 リニューアル後の名称は、「しがプラチャレンジの日」を踏襲した「ごみゼロチャレンジしが」とする。		1月公開
プラスチック代替製品ガイドブック作成	県内のプラスチック代替製品の事例を紹介する冊子(400部)を作成し、代替製品の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子配布</li> <li>・ラジオCM</li> </ul> 	未定

その他、広報課と連携し、しがプラスワン等による広報や関係団体と連携した子ども向けの広報も実施予定。

また、本プロジェクトでは、上記の新たな取組以外にも、これまで取り組んできた「しがプラスチックごみ削減行動宣言」の拡大やプラごみ削減の先進取組事例の収集と情報発信などを有機的に推進する。

## 2 その他

- ・9月知事定例記者会見において、「しがプラチャレンジの日」創設について発信。

## 3 事業スケジュール

	6月	7月	8月	9月	強化月間		11月	12月	1月～
					10月				
キックオフ動画	内容調整	撮影・編集				動画配信			
テーマソング配信	内容調整	録音・編集				ラジオCM・動画配信			
オリジナルキャラクター動画配信	内容調整	撮影・編集				動画配信			
ロゴマーク作成、リーフレット配布	内容調整		印刷			配布			
子ども向け動画・パネル作成	内容調整		動画撮影等			動画配信・啓発			
サーキュラーエコノミー啓発イベント	会場・製造者調整		実施内容調整			実施(月1回)			
県庁舎への給水器の設置		設置の調整				給水器設置			
ホームページリニューアル	デザイン・項目調整			各ページ作成			1月公開		
プラスチック代替製品ガイドブック作成		事例情報収集		内容調整			冊子印刷・配布		

(参考) 「しがプラチャレンジの日」リーフレットイメージ

プラスチックごみの問題の現状

世界では、プラスチックごみが川などを通じて内陸から海に流れ込み、生態系を含めた環境の悪化が問題となっています。日本では「プラスチック資源循環戦略」という計画を作り、プラスチック容器に頼る生活スタイルを変えようことを目指しています。具体的な取り組みとして、2020年7月にレジ袋が有料になりました。このように、プラスチックのゴミを減らす取り組みが進んでいます。私たちの滋賀県でも、2021年3月に「しがプラスチックごみゼロに向けた実践取り組みのための指針」という手引書ができました。そして、2023年10月1日から毎月1日を「しがプラチャレンジの日」として、プラスチックごみの削減の行動をすることを積極的に取り組んでいただく日としています。これを機会にみんなが力を合わせて、プラスチックゴミを出さない生活を目指していきましょう。



毎月ついたり  
しがプラチャレンジの日

滋賀県では、毎月1日を、「しがプラチャレンジの日」とし、プラスチックごみを減らすための特別な日と位置づけ、この日を通じて、ライフスタイルを見直すきっかけ作りを行います。自分たち一人ひとりができることから始めて、段階的にプラスチックごみ削減に向けた取り組みにチャレンジしていきましょう。皆さんもぜひ、「しがプラチャレンジの日」を大切にし、プラスチックごみを減らすための行動に取り組んでください。小さな一歩から始めて、地球環境のために貢献しましょう。

プラスチックごみについての豆知識



「国民1人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量」が最も多い国はどこ？

UNEP(国連環境計画)のシングルユース・プラスチック報告書(2018年6月)によれば、「国民1人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量」の世界第1位はアメリカですが、日本は世界第2位となっています。



何故プラスチックごみは海に大量にあるのか？

ごみは川から海に流れ出て、世界では一年間に800万トンものプラスチックごみが海に流れ込んでいます。2050年には海洋中のプラスチックゴミの重さが魚の重さを上回るかも？



滋賀県ではどうか？

湖沼のごみのうち  
約75%がプラスチックごみ

「ごみゼロしが」のHPがリニューアルします。  
2024年2月予定

滋賀県ごみ減量資源化サイト  
ごみゼロチャレンジしが

ごみゼロしが 検索  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/gomibaro/index.html>



ご意見・お問い合わせ先

琵琶湖環境部 循環社会推進課 ごみゼロ支援係

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1

[TEL]077-528-3472 [FAX]077-528-4845 [e-mail]df00@pref.shiga.lg.jp

ライフスタイルを見直そう。

マイバッグを持参しよう



マイボトルを使おう



シャンプーボトルを繰り返し使おう



ごみはしっかり分別しよう

毎月ついたり  
しがプラチャレンジの日

プラスチックごみの3Rやプラスチック代替製品の利用活用を推進する日として毎月1日を「プラチャレンジの日」に設定しました。私たちができるプラごみ削減活動を実践しましょう。

紙製カップを使おう



古着や布製品などをリサイクルしよう

## 3R(スリーアール)って何だろう？

プラスチックごみの問題を解決するための一つの方法として、捨てられるごみをできる限り減らすことが大切です。捨てられるごみを減らすための手段として、リデュース、リユース、リサイクルの3つがあります。この3つを合わせて「3R(スリーアール)」と呼んでいます。



Reduce  
Reuse  
Recycle

リデュースは、日本語で「減らす」という意味です。つまり、ごみを減らす取組を指します。例えば、使い捨てにしてしまいがちなレジ袋を減らすためにマイバッグを携帯することなどがリデュースの取組です。

リデュース Reduce  
(発生抑制)



3R

リユース Reuse  
(再使用)

スリーアール

リサイクル Recycle  
(再生利用)

リユースは、日本語で「もう一度使う」という意味です。ものをすぐに捨ててしまうとごみが増えてしまうので、繰り返し使うことが大切です。例えば、背が伸びて着ることができなくなった服を他の人に使ってもらったり、壊れてしまったものを修理してもう一度使うことなどがリユースの取組です。

リサイクルは、日本語で「再生利用する」という意味です。使い終わったものを資源として再び利用することを指します。例えば、ペットボトルから服が作られたり、使い終わった段ボールがもう一度きれいな段ボールに生まれかわったりすることがリサイクルの取組です。

## 毎月ついたち 「しがプラチャレンジの日」に 具体的にできることは？

### リデュース Reduce (発生抑制)

#### マイバッグを携帯しましょう

マイバッグを使えば、買い物の際にプラスチックの袋を使わずに済みます。

#### マイボトルを持参しましょう

マイボトルを利用して、使い捨てのプラスチック容器の利用を減らしましょう。

#### プラスチックの代替製品を利用しよう

プラスチックの代わりになる商品を使って、プラスチックの使用を減らすように心がけましょう。例えば、紙製の容器や木製のカトラリーを使うことで、環境にやさしい選択ができます。

#### 買い物時に過剰な包装は断るようにしましょう

過剰包装を断って、簡易包装やばら売りをしている商品を選ぶようにしましょう。

### リユース Reuse (再使用)

#### 詰め替え商品を積極的に選んで買うようにしましょう

例えば、シャンプーなど、詰め替え用の商品を選びましょう。

#### プラスチック容器を再利用しましょう

例えば、プラスチック容器を文房具や小物の収納ボックスとして再利用しましょう。



毎月ついたち  
「しがプラチャレンジの日」



### リサイクル Recycle (再生利用)

#### ごみを分別しましょう

家庭から出るごみの中には、資源となって新たな製品に生まれ変わるものが混ざっています。例えば、段ボール、雑誌、紙パックなどは、燃えるごみに混ぜず分別すれば、段ボール、新聞紙、トイレトーパーなどに生まれ変わります。

みんなの住んでいる市町のごみの出し方を確認してみよう

<https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/home/107109.html>



#### 店頭回収を利用しましょう

店頭などに資源物の回収ボックスを設置し、自主的に回収を行っているお店があります。ルールを守れば誰でも利用することができるので、おうちの人にも教えてあげよう。

資源の店頭回収を利用してみよう

<http://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/home/recycle/107111.html>



毎月ついたち  
しがプラチャレンジの日

## しがプラチャレ ～ライフスタイルを見直そう

毎月一日（ついたち） しがプラチャレンジ

びわ湖の環境守るため

みんなでチャレンジしませんか

プラごみ減らして 見直そうライフスタイル！

毎月一日（ついたち） しがプラチャレンジ

小さなプラチャレあつまれば

大きなウェーブに変わるんだ

合言葉はプラごみ 3R（スリーアール）

リデュース リユース リサイクル

三つのR（アール）を始めよう！

毎月一日（ついたち） しがプラチャレンジ